ドクター向け【リカレント教育】が始まりました!!

医師としてのセカンドキャリアを幅広いものにしてみませんか？

大学病院や大病院に勤務されているミドル・シニアの専門医の皆様、
医師としてのセカンドキャリアについてお考えになっていますか？
厚生労働省では『総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業』を
実施してきましたが、 令和 7 年度からこれに専門領域（科）で働く
ミドル・シニアのドクターに向け、 幅広い総合的な診療を学んで
もらう「リカレント教育（総合的診断能力）のための全国推進事業」
が加わりました。
委託を受けた実施団体は、（公社）全国老人保健施設協会、
（公社）全日本病院協会、（一社）日本病院会の3団体になります。
全国老人保健施設協会では、 高齢者医療について幅広く学び直すことができるリカレント教育『老人保健施設管理医師総合診療研修会』を実施しています。 医師としてのセカンドキャリアをお考えの皆様、 この機会に研修を受講し、 総合診療医への道を拓かれてはいかがでしょう。

全国老人保健施設協会が実施するリカレント教育
『老人保健施設管理医師総合診療研修会』の概要

『老人保健施設管理医師総合診療研修会』は全国老人保健施設協会・日本老年医学会の共催により開かれており、診療報酬上と介護報酬上の加算の算定要件となっています。
毎年 1 回、7 月～ 9 月頃に実施されるこの研修は、講義 1 コマ 40 分から 60 分ほどで、2025 年度の場合、20 講義が組まれています。すべての講義を視聴後習熟問題を行い、修了率が 100％になると仮の修了証書が発行されます。さらに、講義を修了された方を対象に WEB ミーティング形式でグループワークを行い、終了後、正式な修了証書を発行します。
2014 年にスタートしたこの研修制度は、2024 年までに 3,400 名以上が修了しています。

この研修は、老人保健施設の管理医師だけでなく、
総合的な診療能力を持つ医師を目指す方なら誰でも受けられます！

【 研修の目的 】
- ◆ 高齢者の心身および環境の問題を把握し、病気を持っていても生きがいをもち、その人らしく過ごすための援助を行う
- ◆ 多職種協働による医療介護が実施できる医師（管理者）の養成

【 加算の要件 】
- ◆ 診療報酬上の「総合機能評価加算」、介護報酬上の「所定疾患施設療養費（Ⅱ）」「かかりつけ医連携薬剤調整加算」の算定要件

主催：公益社団法人全国老人保健施設協会
　　一般社団法人日本老年医学会
協力：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

全老健リカレント事業はこちら

お問い合わせ　公益社団法人全国老人保健施設協会　業務部業務第二課　TEL：03-3432-4165

リカレント教育事業（講義のみ）

	シラバス	講義時間	講師
1	高齢者救急について① 「退院後を見据えた地域包括ケアシステムの活用・連携」	約60分	杏林大学医学部総合医療学・高齢医学 教授　長谷川　浩
2	高齢者救急について② 「創傷外科関連について」	約60分	介護老人保健施設はまなす 施設長　福田 六花
3	訪問診療　① 「在宅での通常診療」	約60分	医療法人アスムス在宅療養支援診療所生きいき診療所・ゆうき 院長　荒井　康之
4	訪問診療　② 「在宅でのターミナルケア」	約60分	医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック 院長　石垣　泰則
5	コミュニケーション術 在宅における「家族とのコミュニケーション」	約60分	公益財団法人日本訪問看護財団 常務理事　平原　優美

老人保健施設管理医師総合診療研修会（講義のみ）

	シラバス	講義時間	講師
1	患者（利用者）本人の視点に立ったチーム医療		
	老人保健施設管理医師について 施設内連携・施設外連携・老人保健施設における多職種協働　R4システム	約40分	介護老人保健施設紀伊の里 理事長　山野 雅弘
2	生活の場に則した医療提供１ 生活環境の変化に対応した医療提供、在宅医療（かかりつけ医との連携）	約60分	介護老人保健施設竜間之郷 施設長　大河内 二郎
	生活の場に則した医療提供２ 感染症対策・薬剤耐性菌等について 新型コロナウイルス感染症対策	約60分	自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第一講座(呼吸器内科) 教授　山口 泰弘
3	QOL維持・向上を目指したケア		
	老人保健施設の役割について 老人保健施設の在宅復帰・在宅生活支援機能	約60分	介護老人保健施設はまなす 施設長　福田 六花
	QOL維持・向上を目指したケア1 リハビリテーション処方箋の書き方	約60分	一般社団法人全国デイ・ケア協会 東京湾岸リハビリテーション病院 会長/院長　近藤 国嗣
	QOL維持・向上を目指したケア2 在宅復帰のためのリハビリテーション	約60分	介護老人保健施設清雅苑 施設長　野尻 晋一
4	患者（利用者）の意思決定を支援		
	老人保健施設における終末期医療 終末期医療（老年医学会の立場表明など）	約60分	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授　会田 薫子
5	家族などの介護者もケアの対象に		
	家族・介護者のケア 家族をはじめとした介護者の負担を理解し、早期に適切な介入	約60分	介護老人保健施設ベルアモール 相談課課長　浦 慶子
6	高齢者の多病と多様性　1 高齢者の病態と生活機能、生活環境をすべて把握する；高齢者総合機能評価	約60分	名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学･老年科学 教授　梅垣 宏行
	高齢者の多病と多様性　2 高齢者の栄養とフレイル・サルコペニア	約60分	東京大学高齢社会総合研究機構 教授　飯島 勝矢
	高齢者の多病と多様性　3 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（皮膚疾患、褥瘡、疥癬、帯状疱疹等）	約60分	聖隷三方原病院 皮膚科　白濱 茂穂
	高齢者の多病と多様性　4 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（排尿、排便、尿路感染症等）	約60分	独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院　泌尿器科 診療部長　鈴木 基文
	高齢者の多病と多様性　5 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（発熱、肺炎、口腔ケア等）	約60分	東北大学大学院医学系研究科 機能医科学講座　内部障害学分野 教授　海老原 覚
	高齢者の多病と多様性　6 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（パーキンソン病と脳梗塞等）	約50分	愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座 客員教授　大八木 保政
7	高齢者の多病と多様性　7 老人保健施設の疾病の特性と早期介入（ACP）	約60分	介護老人保健施設マロニエ苑 施設長　浦野 友彦
8	高齢者の生活習慣病対策 コストと効果のバランスを考慮したケア（心不全）	約50分	大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学 教授　山本 浩一
9	高齢者に対する薬物療法の基本的な考え方 多剤併用の問題点など	約60分	社会福祉法人邦友会国際医療福祉大学 成田老年医療福祉センター　同 介護老人保健施設オルタンシア センター長/施設長　小島 太郎
10	老人保健施設の認知症ケア　1 認知症について（総論）	約60分	東京医科大学 高齢総合医学分野 高齢診療科 主任教授　清水 聰一郎
	老人保健施設の認知症ケア　2 認知症の非薬物療法	約60分	介護老人保健施設大誠苑 理事長　田中 志子
	老人保健施設の認知症ケア　3 認知症の薬物療法（特にBPSDへの対応、向精神薬の適切な使用方法）	約60分	筑波大学 名誉教授　水上 勝義

2026 年度老人保健施設管理医師総合診療研修会（グループワーク）カリキュラム

時間		テーマ	
8:40～9:00	（ 2 0 分 ）	オリエンテーション（グループワークの進め方等）	
9:00～9:15	（ 1 5 分 ）	WS-1	「高齢者総合的機能評価と診療計画の作成」
9:15～10:05	（ 5 0 分 ）		グループワーク
10:05～10:35	（ 3 0 分 ）		発表 （5～6 グループ）
10:35～11:00	（ 2 5 分 ）		事例解説
11:00～11:10	（ 1 0 分 ）	（休憩）	
11:10～11:20	（ 1 0 分 ）	WS-2	事例説明：「転倒と心不全」
11:20～12:10	（ 5 0 分 ）		グループワーク
12:10～12:40	（ 3 0 分 ）		発表 （5～6 グループ）
12:40～12:50	（ 1 0 分 ）		事例解説
12:50～13:30	（ 4 0 分 ）	（昼食休憩）	
13:30～13:40	（ 1 0 分 ）	WS-3	事例説明：「パーキンソン病の転倒と薬剤調整」
13:40～14:30	（ 5 0 分 ）		グループワーク
14:30～15:00	（ 3 0 分 ）		発表 （5～6 グループ）
15:00～15:10	（ 1 0 分 ）		事例解説
15:10～15:20	（ 1 0 分 ）	（休 憩）	
15:20～15:30	（ 1 0 分 ）	WS-4	事例説明：「アルツハイマー型認知症」
15:30～16:20	（ 5 0 分 ）		グループワーク
16:20～16:50	（ 3 0 分 ）		発表 （5～6 グループ）
16:50～17:00	（ 1 0 分 ）		事例解説
17:00～17:05	（ 5 分 ）	（事務連絡）	